

## 気が付いたら日本が戦争する国になっていたなんて

- 熊「ご隠居、安保三文書というのがよくわかりません。『敵基地攻撃』とか」  
隠「熊さん、それが一番怖いんだよ。『国家防衛戦略』の中にある。その他『国家安全保障戦略』『防衛力整備計画』を安保三文書と言っている」  
八「敵基地攻撃というと戦争になるんじゃないですか」  
隠「敵が仕掛けてきたら反撃すると言っているが、どちらが先になるかわからない」  
熊「これまでの専守防衛を投げ捨てることになりませぬ」  
隠「結局、アメリカが戦争を始めたら、日本も一緒になって戦うということだ」  
熊「そんな危ないことを誰が決めたんですか」 隠「政府と有識者懇談会だ」  
八「憲法9条には国の交戦権は認めないと書いてありますよ。そんなことを認めるのは無識者懇談会だ」  
熊「うまいこと言うね。ご隠居、その大軍拡の予算がはっきり決まってないよう  
です」 隠「岸田さんは24～27年度5年間で43兆円要するという」  
隠「所得税、法人税、復興特別税を回すと言っている」  
熊「東日本大震災の復興特別税を回すなんてもってのほかだ」  
八「24年度は所得税は回さないそうですね」 隠「統一地方選挙があるからだ」  
熊「法人税も、やっと立ち直り始めた大企業に負担をかけるのは反対だという声  
が自民党内から出ているようですね」  
隠「予算も決まらないのに軍事費を決めるのはおかしい」  
八「予算を決めるのは国会でしょう」 熊「八えらい、国会で決めなくっちゃ」  
隠「この頃はなんでも閣議決定だ」 八「この紋所が目に入らぬかですね」  
熊「ご隠居、今年の字は何ですか」 隠「けんきゅうだ。憲法9条が今年の字だ」  
八「気が付いてみたら日本は戦争する国になっていたなんて、ヤダネ」  
おあとがよろしいようで 赤城亭凡太郎

## 安全保障3文書—岸田政権の大軍拡路線宣言

1月31日の衆院予算委員会の志位和夫委員長の基本的質疑で、岸田政権が閣議決定した安全保障3文書の危険な内容を明らかにしました。

(内容その①)

- 「専守防衛」を覆す—従来の政府答弁と整合しない
  - ・1959年3月の伊能防衛庁長官の国会答弁＝「他国に攻撃的脅威を与える兵器の保有は憲法の趣旨ではない」
  - ・1972年10月の田中角栄首相の国会答弁＝「相手の基地を攻撃することなく、もっぱらわが国土及びその周辺において防衛を行うこと」